

(3) 2013年(平成25年)6月6日(木曜日)

大レ協青年部会第4回勉強会

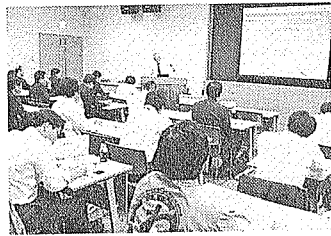
事故防止意識を喚起

安全対策と残酒を学ぶ

大阪府レンタカー協会  
の青年部会(暮部修司部  
会長)は5月29日、大阪  
市の大阪歴史博物館で第  
4回勉強会を開催。テー  
マは「事故防止セミナー」  
で講師を招いての座学と

した。会員各社の店長、  
マネージャーをはじめ若手  
約50人が出席した。  
講演は2題。関西交通  
経済研究センターの中嶋  
仁司主任研究員から「運  
輸安全マネジメントに学

ぶ事故防止」とNPO法  
人ヘルスケアネットワー  
ク(OCHIS)の作本  
貞子副理事長から「健康  
管理と事故防止」(知ら  
ないうちに「酒気帯び運  
転」を聴講した。  
安マネは事業自動車を  
対象としているが、安全  
対策への取り組みは組織  
体制や社内の安全風土が  
求められることからレン  
タカー事業としても実践



が求められる。関交研が  
作成した安マネ推進のD  
VDを鑑賞した後、中嶋  
氏が事故防止への目標や

計画をたて、経営陣と従  
業員の風通しの良いコミ  
ュニケーションの中で安  
全教育の実践、安全性向  
上への機器導入、さらに  
取り組みの評価や見直し  
を繰り返すPDCAサイ  
クルを説明すると、出席  
者の多くがメモを取って  
いた(写真)。  
作本氏はOCHIS作  
成のポスターを示しながら  
飲酒後のアルコールが

体内から消えるまでの平  
均時間を説明した。ビー  
ル中ビン1本で約4時間  
かかり、飲酒量が増えた  
りビールと焼酎など混合  
したりすると、その時間  
はさらに伸び、前夜のア  
ルコールが翌朝以降まで  
残ることがある。このた  
め醒めたつもりで自動車  
を運転すると残酒による  
酒気帯びとなることに注  
意を喚起した。